

平成29年度 ふれあいファミリアミーティング報告書（半縄区）

平成29年10月13日（金）19時～ ◆会場 半縄公民館 参加者◆17人（男15人・女2人）

行政区出席者◆角田区長ほか

町側出席者◆小野澤町長、吉川副町長、佐藤教育長、小野澤総務部長、大貫民生部長、柏木環境経済部長、中村建設部長、伊従教育次長、梅澤消防長、小川企画政策課長、和田総務課長、総務課広報・シティセールス班（高橋）

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
1	半原地域拠点づくり構想に関連して、愛媛県内子町では、道の駅「からり」があり、年間80万人の来場者がある。地場産の野菜などを販売しており、多くの女性が運営をしている。愛川町でも、女性の力を積極的に活用すべきではないか。	半原水源地跡地については、買い物スペース、地場産の販売スペースなど、内子町の事例等も参考にしながら、基本計画の中に取り入れるか検討していきます。また、女性の力も積極的に活用してまいります。(町長)	企画政策課	同左
2	神奈川県建築士事務所協会の会員であるが、まちづくり計画などで、会員を有効活用してほしい。また、都市計画審議委員会委員の有識者メンバーにこの協会から入っていない。地元のことにも熟知している団体なので、ぜひ活用してほしい。	半原地域拠点づくり構想については、色々な方からご意見をいただきながら進めて参りたいと考えています。また、都市計画審議会等でも、今後は、ぜひお力添えをいただきたいと思います。(町長)	都市施設課	町都市計画審議会委員には、平成17年度以降、公募の選出区分において、県建築士事務所協会愛川支部会員の中から1名の方が応募され、委員に任命させて頂いておりますが、ご要望の有識者等の選出区分に位置づけることにつきましては、設置条例における委員数の制限等もございますので、今後、研究させていただきます。
3	半原地域拠点づくり構想に関連して、圏央道の相模原愛川インターチェンジから中津を通って半原へ向かうような方策を考えてほしい。	提案として承ります。なお、幣山下平線を、国道412号に結ぶ計画をしております。いずれにせよ、多くの皆さんが来町しやすい取り組みを考えていきます。(町長)	企画政策課 道路課	同左
4	半原地域拠点づくり構想に関連して、宮ヶ瀬ダム、あいかわ公園と関連をもってほしい。	宮ヶ瀬ダム、あいかわ公園など周辺の施設はもとより、関係する団体や近隣市村と連携をとって、進めてまいります。(町長)	企画政策課	地域再生計画において、既存施設との連携について位置付けております。
5	半縄地区は、舗装面が粗雑なところが多いので、直してほしい。	現地を確認をした上で、できる限り努力してまいります。(建設部長)	道路課	道路パトロール等の現地確認を行い、不具合箇所の補修や舗装打換を行い、道路の維持管理に努めてまいります。

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
6	若宮地区の半縄から階段を降りて、大進館に行く通路や、大進館隣から川へ抜ける道が塞がれてしまっている。町は町道として認識をしているのか確認してほしい。	現地の状況や町道として認定をしているかを含めて、確認をします。(建設部長)	道路課	道路台帳に基づき現地調査した結果、町道であることが確認出来ましたので、通行に支障のある雑草等の除去を10月25日に行いました。今後は適正な維持管理に努めてまいります。
7	半縄地区の側溝は土が入って、大雨時に雨水が吸い込まない場所が多い。側溝を増やしてほしい。	雨水の関係については、29年度は二井坂のチビツ子広場付近の整備を行いました。今後は、状況を確認しながら、対応を検討します。(建設部長)	道路課	10月16日に現地を確認し、側溝の堆積物などの除去を行いました。また、今後は、経過観察しながら、雨水処理施設の整備について検討してまいります。
8	グレーチングのすき間が広いなど、旧規格のままでバリアフリー対応になっていない。改善してほしい。	現地を確認の上、老朽化しているグレーチングについては、改善に努めていきます。(建設部長)	道路課	老朽化したグレーチングの更新の際には、その箇所の歩行者通行の状況などを考慮した上で、バリアフリー対応のグレーチング設置に努めてまいります。
9	中津川の堤防道路は、下谷地区は整備されているが、半縄地区は整備されていない。検討してほしい。	町道として認定をしていなければ、河川区域になるため、厚木事務所が対応することになります。町道認定をしているかを含めて確認をします。(建設部長)	道路課	この堤防道路は町道の認定がされておらず、河川の管理用通路ですので、厚木土木事務所が管理を行っています。確認したところ現在は整備の計画は無いとのことでありましたが、ウォーキング等の利用者がおり、整備の要望がある旨を厚木土木事務所に伝えるとともに、除草について依頼を行いました。
10	坂本下谷線の釣堀り付近は、スピードを出す車が多く、歩行者には危険である。安全策を講じてもらえないか。	現地を確認し、対応策を検討をします。(建設部長) 外側線を引くなど、検討をします。(町長)	住民課	外側線の補修やカラー舗装の設置などについて検討します。
11	防災無線が聞こえない。対応策は考えているのか。	アナログ方式から、デジタル方式に変更する計画をしています。デジタル放送になれば、音声もクリアな状態になると考えます。また、防災行政無線は放送内容をフリーダイヤルで確認もできるほか、メール配信もしていますので、ご利用いただければと思います。(副町長)	危機管理室	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨(町長)	担当課	処理状況など
12	小田急多摩線の関係。現実的な話として、愛川町まで延伸させることが可能なのか。それ以上に、安価な経費でできる交通手段を考えた方がよいのではないかと。	平成28年4月に、唐木田から上溝まで延伸するという国の答申が出ました。その先については、上溝までの進捗状況を見ながら、検討していく必要があると付記されています。また、鉄道の延伸は延伸自治体にも応分の負担が求められますことから、町にとって、より良い交通方策も併せて検討してまいりたいと考えています。(町長)	企画政策課	同左